

こえ  
聲

# 私のいいこと



小松 恵美子さん  
(祖母井)

## 生涯現役に健康年齢

人生は、生涯学習、学びだと思えます。一日として同じ日はなく生きがいのある生活をしたいものです。

高齢になり「何もやる事がなく毎日遊んでいるよ！」などと言っている方がいますが、毎日何かの役に立っているはずですが、しかし、もっと充実した生活をするために趣味、娯楽、教養、実務、農業、ボランティア活動など自分の趣味を広げ、健康年齢を上げることにより100歳や120歳まで現役を貫きたいと思えます。

そこで、お手伝いをさせていただき行政、ボランティア、その他活動を利用して、人との出会いの場を持つことで、多くの方々が魅力ある生涯現役、健康年齢を保持することを願いたいものです。



藤田 高裕さん  
(ハツ木)

## 30年後も魅力ある芳賀町であるために

町民の皆さんそれぞれに芳賀町の印象があると思いますが、私は、農工商が発達した緑豊かな、日本でも稀な町だと思えます。そんな芳賀町がこの先も魅力ある町であり続けるには、個々の産業が発展してだけでなく、お互いの産業が手を取り合うことで、相乗的に発展していけるのではないかと考えています。

例えば、人手不足を解消するための農業研究企業や、インフラ整備のための自動運転研究企業などを誘致してみたいかがでしょうか。また、道の駅&ロマンの湯にグランピングやキャンプ施設を併設し、そこを拠点とした農業体験ツアーの企画なども面白いのではないかと思います。

2023年にLRTが開通予定で全国から注目を浴びるまたとない機会です。将来活躍していく芳賀っ子のために、町民一丸となって芳賀町を良くしていければと思います。



小島 洋子さん  
(西高橋)

## 子どもの声が響く芳賀町へ

私は宇都宮の中心部で生まれ育ちました。住宅と商店街の中で、子どもの頃の遊び場といえば近くの小学校と高校の校庭でした。学校から帰ると暗くなるまで遊び、友だちもたくさんいました。でも今はどうでしょう。外で遊ぶ子どもたちの姿はほとんど見かけません。遊び方も違うのでしょうか、近くには友だちがいないような気がします。私は子どもたちの元気な声が好きです。子どもたちの元気な声を聞くとほほ笑ましくなります。

今の時代の子育ては大変だと思えます。でも、親はもちろん、子どもは地域社会の中で育っていくのではないのでしょうか。安心して地域の中で子育てができる町になることを願っています。そして、外にたくさん子どもたちの声がする芳賀町であってほしいと思えます。